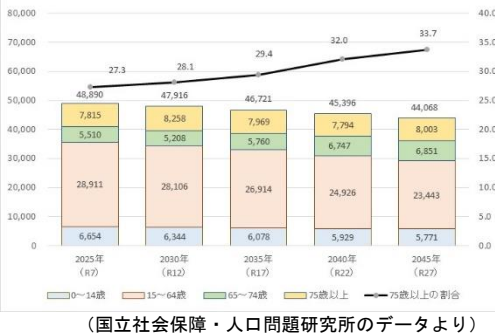


【案】 【概要版】 市立野洲病院・経営強化プラン 計画期間：令和6年度～令和9年度

第一章 野洲市と市立野洲病院を取り巻く環境と課題 (本編 3頁～)

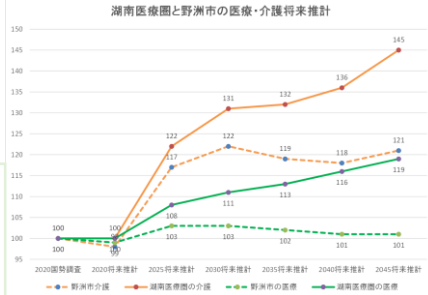
※市立野洲病院は、周辺医療機関との機能分化・連携を図りつつ、疾病予防、急性期から回復期、在宅療養に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療が提供される「地域完結型医療」を進めています。

2. 湖南保健医療圏の医療提供体制



野洲市の人口推計 (左)
・総人口は徐々に減少するものの、若年層や壮年層の減少は少なく、R12年度まで伸びが続く圏域と見込まれています。
・高齢化率は上昇していく予測です。

湖南保健医療圏と野洲市の医療・介護将来推計 (右)
高齢者の増加することで、急性期を終えてから在宅療養に移行するまでの医療とともに、在宅療養が困難な高齢者(独居老人・老々介護等)の増加が見込まれます。



湖南保健医療圏における必要病床数の推計結果 (『滋賀県保健医療計画』)

Table with 5 columns: 構想区域, 医療機能区分, 2025年医療需要(人/日), 2025年医療供給, 2021年医療供給. It details required and supplied beds for various medical functions like acute care, recovery, and maintenance.

湖南保健医療圏におけるR7(2025)年の必要病床数
病床数：高度急性期・急性期の病床…過剰
回復期…大きく不足、慢性期…不足

第六章 施設・整備の最適化 (本編 41頁～)

Table of facility and equipment costs. Columns include 概算事業費, 企業債, 補助金, 病院財源. Rows list construction, design, and equipment costs for various departments.

整備事業費：建築単価：71.7万円/m²
※建築資材費の高騰等の事情による。今後、契約方式(設計・施工一括発注方式)の強みと、CM事業者の提案を参考に、整備費用の圧縮に務める。

医療デジタル化の推進
医療DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進
マイナンバーカードの保険証利用に対応 (R3.10～)

第四章 経営形態の見直し (本編 38頁～)

基本：常に変化する医療環境や診療報酬等医療保険制度に自律的かつ柔軟に対応、不採算医療を含む公共性の高い医療までを安定的に維持できる経営形態の採用
⇒経営形態の最適化に向けた検討を継続しつつ、「市が直接経営する公営企業としてさらに健全で自立した経営を行うこと」を原則とする。

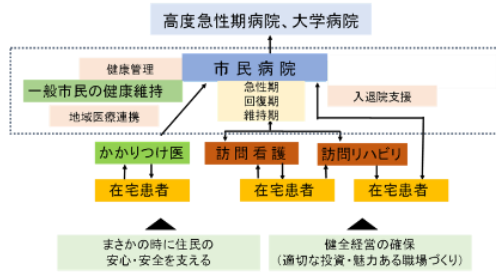
第五章 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 (本編 40頁～)

- 野洲市等における感染症患者の対応拠点(入院受入、発熱外来診療)
・感染対策向上加算1を取得：開業医とのカンファレンス(年2回程度)、草津保健所との連携。
・新興感染症が発生した場合においても、正確な情報を基に新興感染症患者への対応を行い、かつ一般医療への影響をできる限り制御することができる施設・体制づくり(動線分離など)

第二章 役割・機能の最適化と連携の強化 (本編 18頁～)

地域包括ケアシステムの構築に向けて
・地域全体で患者を支える「地域完結型医療」の実践
・疾患を有しながらも症状を緩和しつつ社会生活を支える「治し、支える医療」の実践
・高齢化の進展に伴い増加する疾病等への対応(複数疾患を有する場合、フレイル、ロコモティブシンドローム、認知症など)

地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能



機能分化・連携強化の取組
滋賀県立総合病院：医療連携協定
滋賀医科大学：市と共同研究講座 (R6年度～)
湖南病院：入院患者の受入(一時転院)等
在宅医療の連携強化：障害者病棟の新設、回復期病床の増床、訪問診療の充実、レスパイト入院の受入、入院サポーターの導入 (R5年10月より)

Table showing bed capacity changes for different medical periods: 急性期 (急性期, 回復期, 維持期), 一般, 地域包括ケア, リハビリテーション (障害者病棟). Shows increases in beds for acute care and home care, and decreases for general beds.

- 一般会計負担
→繰出基準(総務省通知)に基づき適切に繰入ります。
・住民の理解に向けた取組
→新病院の整備方針や新病院が担う役割・機能について、市民説明会等を通して取り組んでまいります。

第三章 医師・看護師等の確保と働き方改革 (本編 36頁～)

当院は、地域の医療を担う重要な拠点であり、今後も必要な病院で在り続けるためにも、医師や看護師等の医療従事者を確保することが重要な課題だと認識しています。タスクシフト/シェアに加え、ワークライフバランスの充実にを図り、個々人の働き方に配慮した取り組みを行います。

- 1. 医師・看護師等の確保
2. 若手医師の確保
3. 医師・看護師等の働き方改革への対応

第七章 経営の効率化等 (本編 46頁～)

- 経営の効率化に向けて、下記の対策に取り組めます。
(1) 収支改善・収入確保対策
① 経営力の強化および医療の質の向上
② 地域医療連携の強化による患者確保
(2) 経費削減・抑制対策
① 医療従事者の負担軽減、働き方改革による業務効率化
② 材料費削減対策の検討
(3) 患者サービスなどの推進
① 患者満足度の向上
② 広報活動の充実による病院全体のブランド化の定着
③ 医療DXの推進

事業開始(R元年)以降の収支実績及び新病院開院後に経常損益が黒字化するまでの事業収支計画のシミュレーション結果概要左記のとおりです。開院8年目以降は黒字化を見込んでいます。累積資金余剰は健全経営を維持、他会計負担金は約4～5億円前後で推移する見込みです(他会計負担金のうち、野洲市一般会計の実質負担分は年間約2～2.5億円程度、交付税措置分が年間約3億円程度)

Large financial statement table showing income and expenses from 2019 to 2034. Columns include years (R1 to R16) and various financial metrics like medical revenue, expenses, and net income.